

地域のたから 東西線編

「隠れた仙台の名所」 沿線ぶらり散歩」



第6回
川内駅

仙台市博物館 学芸普及室長 菅野正道

芭蕉が訪れた観光地

「奥の細道」の旅の途上で松尾芭蕉が仙台を訪れたのは元禄二（一六八九）年五月四日の夕方、現在の暦では六月二〇日にあたります。国分町に宿を求めた芭蕉は、一日おいた五月六日、仙台下の見物に出かけました。大橋を渡って仙台城の大手門を見ながら道を右に曲がった芭蕉が最初の目的地としたのは、亀岡八幡宮でした。しかし、にわか雨に降られて雨宿りを余儀なくされた芭蕉は、梅雨空を心配してかこの日の見物を亀岡八幡宮にとどめ、翌日あらためて、東照宮や榴ヶ岡、国分寺薬師堂などを回っています。



亀岡八幡宮の石段前に立つ石鳥居。5代藩主伊達吉村が寄進したもので、宮城県指定文化財となっている

では、芭蕉はなぜ仙台での最初の目的地を亀岡八幡宮にしたのでしょうか？理由の一つ

伊達家の氏神

は、先輩格になる俳人大淀三千風が数年前に沢山の句を記した額を社殿に奉納しており、それを拝観することだったようです。同時に、この地が仙台下でも人気の観光地であったことも大きな理由でした。今は観光客が訪れることは少ないこの神社は、実は江戸時代は仙台下でも有数の観光地だったのです。

亀岡八幡宮は、元は現在の福島県伊達市梁川にあり、「梁川八幡宮」と呼ばれていました。梁川は鎌倉時代以来の伊達家の本拠地であり、梁川八幡宮は氏神として伊達家に信仰された神社でした。伊達政宗が初陣の際に梁川八幡宮に詣で戦勝祈願をしたことは、伊達家にとってこの神社がいかに大切なものであったかを物語る逸話となっています。

その後、豊臣秀吉の命によって伊達政宗は居城を岩出山に移すことになり、梁川八幡宮と伊達家の関係はいったん途切れてしまいました。しかし伊達家を慕った梁川八幡宮の関係者は、ひそかに神体を伊達領へ運び出し、政宗は仙台下の同心町（現在の錦町公園付近）に社地を定めてこれを迎えたのです。

それから八〇年後、仙台藩四代藩主伊達綱村は、この氏神を仙台城の近くに移すこととしました。川内の亀岡に造営された社殿は天和三（一六八三）年に完成し、遷宮した梁川



八幡宮は、以後「亀岡八幡宮」と呼ばれるようになったのです。伊達綱村は社殿の造営だけでなく、仙台藩の隊旗に「亀岡八幡」の文字を記すことにし、また門前町に酢の専売権や税の一部免除などの特権を与え、亀岡八幡宮を庇護しました。

この亀岡八幡宮が仙台下有数の観光地となったのは、仙台を代表する神社、ということに加え、標高一三〇m以上の山上に位置するという地形が大きな要因となっていました。仙台城本丸の大広間がある場所は標高一二〇m弱、仙台下の有名な眺望スポットである愛宕山の標高が七五mということを見ても、亀岡八幡宮が仙台下最高の絶景スポットであったことは瞭然としています。仙台を訪れた旅人は、この神社に参詣し、江戸以北で最大の城下町仙台的眺めを楽しんだのです。綱村が造営した壮麗な社殿は空襲で失われ、多くの人を驚かせた眺望も木々の緑によって遮られ、門前町の面影も残っていませんが、芭蕉が歩んだ石段は、今も訪れる人を三百年前にいざなってくれるはず。

特別展 国立カイロ博物館所蔵

黄金のファラオと大ピラミッド展

エジプトの至宝、ファラオの「黄金のマスク」が仙台に登場。吉村作治氏監修の特別展が好評開催中!

【観覧料】一般：1,500円、高校・大学生：1,200円、小・中学生：800円
※10名以上の団体は100円引き。その他各種割引があります。詳しくはお問い合わせください。

※会期中は会場内・駐車場ともに混雑が予想されます。ご来館の際は公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

TBC 黄金のファラオ 検索

いよいよ
6/26(日)
まで!

(右)アメンエムペルトウの
彩色木棺
第3中前期 第21王朝
(前1069～945年頃)
(下)クヌムト王女の襦袢
中王国時代 第12王朝
(前1911～1877年頃)
いずれも国立カイロ博物館蔵



アメンエムペルトウの黄金のマスク
第3中前期 第21王朝(前993～984年頃)
国立カイロ博物館蔵

■主催：「黄金のファラオと大ピラミッド展」仙台展実行委員会(仙台市博物館、TBC東北放送、河北新報社) ■監修：吉村作治氏(東日本国際大学学長・早稲田大学名誉教授・工学博士) ■企画制作：TBSテレビ ■協力：国立カイロ博物館、エジプト・アラブ共和国考古省、学校法人昌平黄 東日本国際大学、NPO法人太陽の船後原研究社、日本エジプト学会、早稲田大学エジプト学研究所広報部、独立行政法人国際協力機構(JICA)、カタル航空、ルフハンザ カーゴAG、日本通運 ■協賛：三井ホーム

仙台市博物館
SENDAI CITY MUSEUM

開館時間：午前9時～午後4時45分(最終入館午後4時15分) ●6月の休館日：毎週月曜日

TEL:022-225-3074

〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡)

▶HP <http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/> ▶ツイッター @sendai_shihaku